

## 解答

一 問一 A 観点 B 確率 C 採用 D 地域 E 適応

F 判明 G 復活 H 護衛 I 職種

問二 短期間でたくさん子供を残せば天敵に食べられる確率が減り生き残りやすくなるから。

問三 ヒトは長生きして老化し病などで死ぬがマウスは短命で天敵に食べられて死ぬ。

問四 ハリネズミは針のような毛で身を守り、ビーバーは水上で暮らすことで天敵から逃れ長寿化した。

問五 乾燥地域の地下にアリの巣のような穴を掘って暮らし、天敵が少ないから。

問六 代謝が低い省エネ体質で活性酸素が少なく、生体物質を酸化させない。

問七 「真社会性」とよばれ、一匹のメスのみが女王として子を生み、その他のメスは仕事を分業する仕組み。

問八 分業により仕事効率が上がり、一匹あたりの労働量が減少し、ストレスを軽減させて寿命を延ばし、教育に時間を割きさらに分業を高度化・効率化させる。

## 二 問一 ア

問二 結果の見えない、自己満足の楽しみ。

問三 バイオリンの練習が嫌で、はやく時間が過ぎてほしいと願う気持ち。

問四 音楽の世界で伸び伸びと力を発揮できる人。

問五 「創作により刺激を与えてくれるかどうか」という長年の行動基準を脱し、文章にならない趣味としてギターを楽しむから。

問六 自分より才能があり、能力のある者と厳しく比較される(ような場所)。

問七 自分は自分であり、誰かのペースと並ぶ必要はないという気楽なギター弾きが物書きの世界での競争を忘れさせてくれる。

## 三 問一 まいた種の発芽を土にまかせる

問二 エ

問三 オ

問四 すぐに芽を出す大根の生命力に驚きを感じている。

問五 大根の種をまくことで生きる活力を得られるから。

問六 死んでいった自分の仲間の姿が自分の心の内に浮かんでくるといふこと。